

山 旅

会報 No. 269
好山好山旅会



ニペソツ山

平成28年8月例会山行計画

第一例会 大菩薩	8月6日(土) 小金沢連嶺	担当者 木村
第二例会 北アルプス	8月21日(日)～24日(水) 燕岳～蝶ヶ岳	担当者 高橋
第三例会 上州榛名	8月21日(日) 相馬山・二ツ岳	担当者 清水

《北アルプス 蝶ヶ岳～常念岳》

5月第五例会

5月28日(土)・29日(日)

参加者：白井(L)、大平、石栗

【1日目】曇り時々晴れ

— 大平 記 —

土日の催行であり、スーパーあずさ1号の指定席は数日前から完売状態でした。予想通り、立川から超満員状態で、指定席車両の通路まで入り、混雑を極めているいつもの光景でした。幸いにも、大月で座れる事が出来ました。約2時間、体力の温存に専念し、合流予定の豊科駅で無事合流しました。何故か、穂高の温泉に前泊した人とも合流しました。

早速、リーダーが予約していたタクシーで、一路、三俣へ。運転手曰く、今年は、雪も少なく登山者も少ないとのこと。三俣駐車場は、既に8割前後の駐車割合でした。出だしのポイントのまめうち平迄、所要予定時間よりも30分も早く到着。所要予定時間5時間だと、このままでは16時到着が、かなり早くなりそう！！

途中、何度か雪渓を横切ったり直登しましたが、(アイゼンは不要)ひたすら上へ上へ。でも、何故か、ペースは上がりません。蝶ヶ岳直下では、究極の道迷いまでしてしまいました。分岐の標識通り蝶ヶ岳に向かいましたが、先に登った人から呼び止められて、事なきを得ました。引き返して、ハイマツの横を直登すること10分、やっと、山頂へ到着。その後、事件勃発！！頂上直下で20張程のテントを横目に小屋へ。ヒュッテの裏のピークらしき処で、「やっと、着いたぞ！！」と、お互いに頑張りを称えていたら何と、先程のテント群の上が山頂との事。山頂は明日にして、受付もそこそこに、ビールとおつまみを持って裏のベンチへ。そうこうしている内に、少しずつ雲が切れて、待ちに待った雄大な絶景が。言葉もなく、ただただ雄大な絶景に圧倒されて、寒さも忘れて暫し夕飯までのひと時を、心行くまで堪能しました。夜半の満天の星空も見事でした。

【2日目】快晴

— 白井 記 —

4時に起床。小屋を出て蝶ヶ岳山頂に向かう途中、雲海の向う八ヶ岳、奥秩父の山々の間から日の出を見る。山頂に着くと、既に西側の穂高連峰から槍ヶ岳に至る山々を赤く映し出していた。40年前に来た時はガスっていて見られなかった光景が眼前に広がり、感激し暫し見惚れていた。

4時50分山頂を出発し、常念岳に向かった。蝶ヶ岳までは穂高・槍の連なりさらに乗鞍、御嶽山を左に見ながら快適な尾根歩き。ハイマツの中に飛び出した岩の上、冬毛から夏毛へ生え変わる最中の雷鳥が一羽。我々を見ても逃げる事無くポーズをとってくれた。蝶ヶ岳からは砂交じりの急斜面を200m以上一気に下り、ナナカマドとダケカンバの樹林帯に変わる。さらに100m以上下り、草地と小さな池を通って登った小さなピークが2512m。ここから常念岳の頂上まで350mの急登が続いた。リーダーはバテバテで2～3分歩いては一息入れての繰り返し。元気なIさんは軽い足取りで一足先に山頂へ。山頂からは槍ヶ岳が一層近くに見え360度の大パノラマを30分間腹一杯堪能した。途中予想以上に水分を摂ったので、3人共に飲料の残りが少なくなってきたので小屋でのドリンク購入を楽しみに一気に下った。途中から雲が出て来て、その雲間に綺麗な虹を見る事が出来た。

11時常念小屋到着、屋根のペンキも新しく塗り替えられ快適そうな小屋だった。此処で400円のペット飲料を購入し、昼食を摂り小屋の電話でタクシーを予約し、11時30分以下山開始。常念乗越から最終水場までは急坂だが特に危ない箇所は無いがここから「胸突き八丁」までの間は所々崩落している箇所が有り、滑落注意の看板やトラロープが張られていて慎重に通過す

る。途中から川原に下り沢の中の道らしき踏み跡を探しながら何回か丸木橋を渡り、渡渉を繰り返した。一ノ沢登山口に15時にタクシーを呼んでいたのですが、ペースを上げ過ぎて地図のコースタイムより速く着いてしまい、暫くタクシーを待つ事になった。

予想以上の好天に恵まれ、長い間憧れていた上高地の向こうに展開する光景を目にする事が出来、肉体的には少々きつかったが大満足の山行でした。

☆コースタイム【1日目】豊科駅（タクシー）10:20～三股登山口 11:00～まめうち平 12:42～

2350m地点 14:25～蝶ヶ岳ヒュッテ 16:08

【2日目】蝶ヶ岳ヒュッテ 4:30～蝶ヶ岳山頂 4:50～蝶ヶ槍 5:35～2592mピーク 6:44

～2512mピーク 7:43～9:39 常念岳山頂 10:10～11:02 常念小屋 11:30～

一ノ沢登山口 14:22

☆費用 鉄道（JR）；新宿→豊科 7,130円、 穂高→新宿 7,130円

タクシー代 豊科→三股登山口、一ノ沢登山口→穂高 11,700円/1台

蝶ヶ岳ヒュッテ 9,500円

《上州赤城 鍋割山》

6月第一例会

6月5日（日）曇りのち晴れ

参加者：小淵（L）、高橋、土方、木村、豊島、宮崎、太島、大平、鈴木（徹）、伊沢、相川

計11名

—小淵記—

先ず登山口へのアクセスとして3台のマイカー分乗となり、7名はJR南浦和から小淵車で、その他のメンバーは土方さんと大平さんの車で登山口へ向かいました。すでに駐車場へ到着している大平さんから駐車場は満車状態との連絡が入った。しかしまあ何とかその駐車場に全車駐車できまして出発準備となりました。それにしても大型バスも何台か来ており、この山もなかなかの盛況のようです。

駐車場で身支度を済ませて、第一の目標荒山高原を目指してゆるやかな登りを歩きはじめます。30分ほどで「風穴」です。風の出口に近寄ると涼しい風が顔を撫でてくれます。その後15分程度で荒山高原に到着。サラサドウダンツツジが出迎えてくれたが、この花は華やかさに欠ける感じがします。ここで進路を右にとると鍋割山へ向かいます。途中には小さなピークがいくつかあり、火起こし山、竈（かまど）山など鍋の山に向かって山名が面白い。そしてこの荒山高原から鍋割山までのルートは、ほとんど散歩道でありハイキングと言うよりはピクニック気分です。

今回の目的はツツジですが最盛期を若干過ぎてしまった様子です。それでもヤマツツジはそれなりに咲いており、わずかに一株のみ際立って咲き誇っていたのがレンゲツツジ、これは美しかった。それからクサタバナが白く凜として咲いており、私も初めて見る花で珍しいものであった。行程時間の少ない山ゆえ頂上での昼食所間はたつぷりと40分取り、往路をもどりました。

帰路では小淵車のメンバーのみ渋川市へ向かい、私がいつも寄るそば屋で満腹になり、関越道で帰京となりました。

☆コースタイム 姫百合駐車場 10:30～11:15 荒山高原 11:20～12:00 鍋割山 12:40～

13:25 荒山高原 13:30～姫百合駐車場 14:00

☆費用 南浦和駅起点～姫百合駐車場往復 2,000円/一人（小淵車関係）

《奥鬼怒温泉郷～物見山》

6月第二例会

6月11日(土)・12日(日)

参加者：板橋(L)高柳、原田、ゲスト1名 計4名

—板橋記—

【1日目】晴れ

東武の特急券が満席で買えず、次の快速で行くことになったため、鬼怒川温泉からのバスに乗れずに女夫淵(メトブチ)までタクシー利用となったが、途中でバスを追い抜き、予定通りに歩き始めることができた。溪流沿いの道をゆっくりと歩く。木々は落葉樹が多く、秋の紅葉も良いと思う。八丁ノ湯・加仁湯の玄関先で休憩し、2時過ぎに日光沢温泉に着いた。男女別の内湯の他に硫黄泉と炭酸泉の露天風呂があり、風呂好きにはお勧めの宿だ。

【2日目】晴れ

朝食を6時から早めてもらい、6時35分に歩き始めた。アスナロの植林がかなり上まで続くが、けっこう名前を知らない草花も多く、オククルマムグラ・オオバミズホオズキ・コケイラン・イチョウラン等を原田さんに教えてもらった。正式な名前が分かるまで、仮にブレーキ鳥(鳴き声が自転車のブレーキ音に似ている)と名付けていた鳥の名がメボソムシクイと分かったのは大きな収穫だった。

ゆっくり歩いたが、30分遅れで鬼怒沼に着くことができた。尾瀬沼も乾燥化が進んでいると聞いているが、ここも沼の畔より1メートルも水位が低いようだった。植物もタテヤマリンドウとヒメシャクナゲが見られるくらいで、お花畑にはほど遠かった。沼から40分で物見山。そこから2時間15分厳しい下りが続いた。気になっていた湯沢出合の橋は、直径1メートルの太い丸太が懸けられていた。シャクナゲは10日前の下見の時は、すばらしく鮮やかなピンクだったが、最盛期は過ぎていた。1時35分大清水着。行動時間7時間で、思っていたよりずっと大変なコースだった。ほとんどの登山者は鬼怒沼から引き返してしまい、大清水まで縦走したのは我々4人だけだった。

☆コースタイム 【1日目】女夫淵 11:50～八丁ノ湯 13:35～加仁湯 13:50～日光沢温泉 14:10

【2日目】日光沢温泉 6:35～9:15 鬼怒沼 9:25～10:05 物見山 10:25～

12:40 湯沢出合 12:50～大清水 13:35

☆費用 浅草～鬼怒川温泉 2,883円 上毛高原～東京 5,390円

バス代 鬼怒川温泉～女夫淵 1,540円 大清水～上毛高原 2,650円

日光沢温泉宿泊代 9,006円

《奥秩父 金ヶ岳・茅ヶ岳》

6月第三例会

6月19日(日)曇り

参加者 清水(L)、板橋、大平、鈴木(徹)、相川 計5名

—相川記—

蕪崎駅より全員集まって、予約したタクシーに乗り、明野ふれあいの里に向かいました。車中より山頂にはガスがかかって見えませんでした。金ヶ岳に向かって歩き始めました。赤松林の中を通ると、心地良い風が吹いてとても気持ちが良かったです。しばらくすると、蒸し暑さを感じてきました。山頂までには、山紫陽花・黄色い花のニガナ・キンポウゲ・オダマキ・ミツバツツジなどの花を見つけることが出来ました。心が和み、歩く気持ちも少し軽やかになりました。

11時30分金ヶ岳に到着しました。ヤマショウブが咲いていました。富士山もうっすらと望むことが出来ました。小雨がぱらつき、雲の流れが心配のため、小休憩をして、茅ヶ岳に向かいました。

12時30分に茅ヶ岳山頂に到着しました。40~50人もの人々がいて、とても賑やかな中でお昼を頂きました。雨が少し強く降りだしたので、レインウェアを着て、リュックカバーを付けて、下山へと向かい、途中二人静を見つけました。少し下って、深田久弥氏の終焉の地にて、「無事に下山出来ますように」と祈りました。

15時に深田久弥公園に到着しました。小休憩を取り、タクシーの待っている駐車場へ向かいました。

☆コースタイム 明野ふれあいの里9:10~11:30金ヶ岳11:40~12:40茅ヶ岳13:10~
女岩付近14:00~深田公園15:00

☆費用 電車代 片道(新宿~葦崎) 2,590円 特急券1,830円
タクシー代 4,690円 (葦崎~明野ふれあいの里)
3,790円 (深田公園~葦崎)

《東北 姫神山・早池峰山》

6月第四例会

6月25日(土)・26日(日)

参加者 板橋(L)、高柳、清水、原田、船生、大平、中原、久保田 計8名

—板橋記—

【1日目姫神山】 雨のち曇り

梅雨時の山行とあって、空模様が大きい気になった。1週間前の予報では土日ともに雨マークが付いていたが、前日には、土曜日が雨のち曇り、日曜日が曇りと少し好転した。早朝、自宅を出たときには、かなりの雨で、おまけに風も強く、傘がおチョコになってしまった。幸い新花巻に着いたときには雨もやみ、気分が少し楽になった。駅でレンタカー2台に分乗、一本杉登山口に向かった。広い第2駐車場のトイレ脇から山道となる。今朝までの雨で道はぬかるんでいる。10分ほどで登山口の由来となった樹齢300年の大杉の前を通り過ぎる。木の階段と岩の階段が続く。風はあるが、けっこう蒸し暑い。8合目からは、優雅な山名に似合わない大岩の登りが30分続く。頂上からは、強い風のお陰で雲が吹き飛ばされ、八幡平・岩手山・早池峰山が見えた。曇っていたので眺望は期待していなかったが、予想外の360度の展望に出会えた。上りでオダマキ(チョコレート色とクリーム色)、下りでサイハイランを見ることができた。コメツツジ・ウスユキソウ・クガイソウ・ソバナを見るにはちょっと時期が早すぎたようだ。

余談だが、帰りの高速道路の出口で後部座席のシートベルトをしていないのを私服の警察官に見つかり、運転者が次回免許更新時にゴールド免許を得られない処分を受けてしまった。皆さんも十分に注意してください。

【2日目早池峰山】 小雨・強風

ホテルの朝食を6時からに早めてもらい、6時30分花巻のビジネスホテルを出発。シャトルバスの乗降地・岳を7時30分発(シャトルバスは30分に1本)7時55分小田越着。当初の計画では、河原坊から登る予定だったが、大規模な崩落のために小田越からのピストンとなった。バス

を降りると想定外の強風と濃霧。急いで雨具上下を着る。

8時10分、歩き始める。雨は強くはないが、雨水が細い水流となって登山道を流れている。1合目までのシラビソやダケカンバの林を過ぎると風が更に強くなった。2合目付近で歩くのも困難になり、撤退を決めた。我々以外の多くのパーティーも2合目あたりから下山していった。

登山としてはほんのとばかりまでだったが、オダマキ・ナンブトラノオ・キンロバイを見ることができた。特にハヤチネウスユキソウを2株見ることができたのはラッキーだった。来年は7月初めの花の最盛期に来ようと思った。

☆コースタイム【1日目】一本杉登山口 11:40～五合目 12:20～13:30 姫神山 13:40～
14:10 八合目で昼食 14:30～一本杉登山 15:10

【2日目】ルートイン花巻 6:30(レンタカー)～7:20 岳 7:30～

7:55 小田越 8:10～9:30 小田越 9:42 シャトルバス発

☆費用 新幹線代 東京－新花巻(片道)13,360円

レンタカー代 9,200円×2台 高速通行料 5,000円 ガソリン代 3,142円

ルートイン花巻宿泊代 6,900円 運転手当 6,000円